

日時／2019年6月13日(木) 18:10~19:50

会場／宇陀市立病院 5階「大会議室」

## ■ 開会の辞

仲川 喜之 先生 宇陀市立病院 院長

## ■ 基調講演 18:15~18:45

# 『糖尿病と肝疾患のつながり』

座長 築瀬 公嗣 先生 宇陀市立病院 消化器内科／奈良県立医科大学  
地域医療支援・教育学講座 宇陀地域消化器疾患研究グループ

演者 瓦谷 英人 先生  
奈良県立医科大学 内科学第三講座／  
地域医療支援・教育学講座 講師 宇陀地域消化器疾患研究グループ

## ■ ディスカッション 18:45~19:45

# 『宇陀地域で考えるこれからの糖尿病と肝疾患』

座長 松倉 康夫 先生 宇陀市立病院 副院長

## ■ パネリスト

① 西垣 賢 先生 サン薬局天理東店 薬局長

「保険薬局で取り組む肝炎啓発活動～NASH/NAFLDも含めて～」

② 藤井 智津子 先生 宇陀市立病院 栄養科(管理栄養士) 科長

「糖尿病患者にお勧めする食事指導のポイント」

③ 城井 啓 先生 城井内科医院 院長

「NASH/NAFLDに対する治療のポイント」

## ■ 閉会の辞

吉治 仁志 先生 奈良県立医科大学 内科学第三講座 教授



## ■ 要旨

2019年6月13日(木)に『宇陀の地域診療を皆で考える会』が開催され、66名の医療関係者にご出席頂きました。

開会の辞を宇陀市立病院 院長 仲川喜之先生に賜り、宇陀けあネットの重要性や今後の地域連携の取り組みについてご紹介頂きました。基調講演では、奈良県立医科大学 内科学第三講座 瓦谷英人先生より「糖尿病と肝疾患のつながり」と題しご講演頂きました。糖尿病と肝疾患の関係性は深くメタボリックドミノによって生じる予後不良因子、特にNASH治療の重要性についてご講演頂きました。

ディスカッションでは、『宇陀地域で考えるこれからの糖尿病と肝疾患』をテーマに宇陀市立病院 内科 副院長 松倉康夫先生に座長を賜りました。パネリストには多職種の演者の先生方に入って頂き、①肝炎医療コーディネーターの啓発活動②栄養士から見た糖尿病指導のポイント③NASH/NAFLDの薬物療法の選択についてご講演頂きました。また肝臓専門医への紹介のポイント、日頃の糖尿病治療に対する疑問や困っていること等、会場で議論がなされました。

閉会の辞は奈良県立医科大学 内科学第三講座 教授 吉治仁志先生に賜り、4月から始まった宇陀市への医師派遣の重要性、今後の地域診療の発展に対する願いをお話されました。健康寿命だけでなく健幸に生きるには他科を超えた多職種の連携が今後より一層重要であり、本会を通じて多くの参加者から感謝のお言葉を頂き、非常に有意義な会となりました。